

グラフで見る東海経済(2022年11月)

2022年11月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~持ち直しの動きが一服

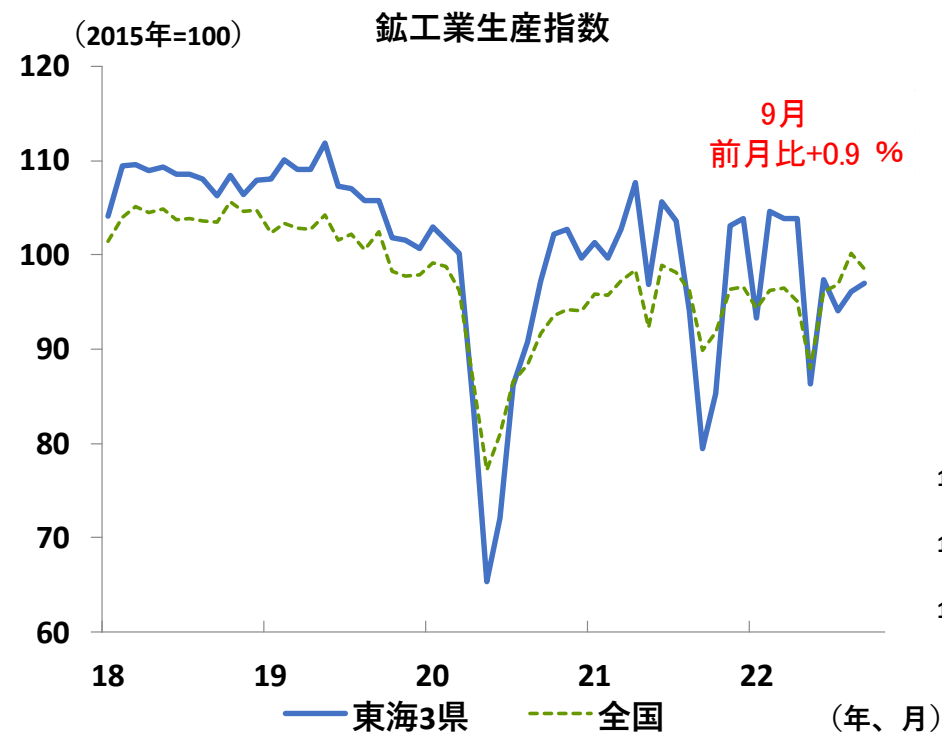
【今月のポイント】

- 東海経済は、半導体調達難の影響による自動車生産の停滞が響き、持ち直しの動きが一服している。
- 実質輸出は足下で増加しているが水準はまだ低く足踏み状態。貿易統計で自動車の輸出数量をみると、生産停滞が響き足踏み状態となっている。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、感染拡大防止と経済活動の両立が図られる中で持ち直しの動きがみられる

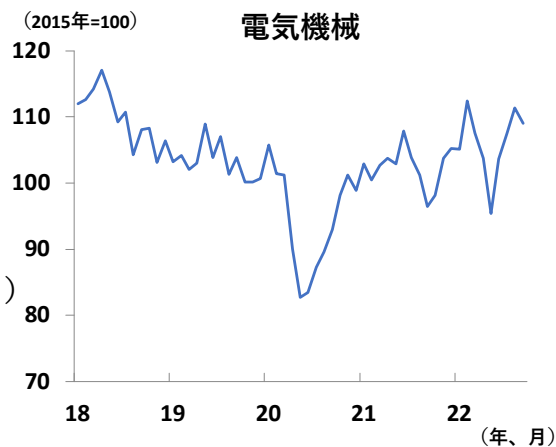
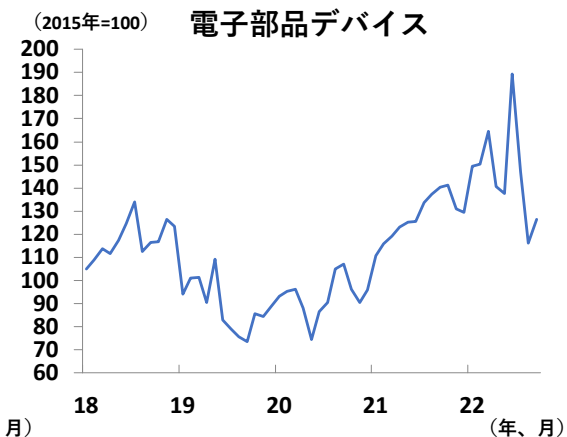
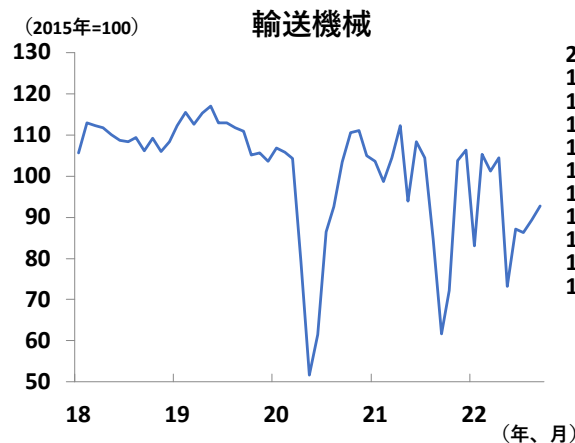
項目	現状
景気全般	持ち直しの動きが一服
生産	持ち直しの動きが一服
輸出	足踏み状態
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	横ばい圏で推移

生産

9月の鉱工業生産(東海)は前月比+0.9%と2カ月連続で増加したが、持ち直しの動きが一服している。輸送機械、電子部品デバイスは前月から増加したもののまだ水準は低く、電気機械、汎用・生産用・業務用機械は減少した。

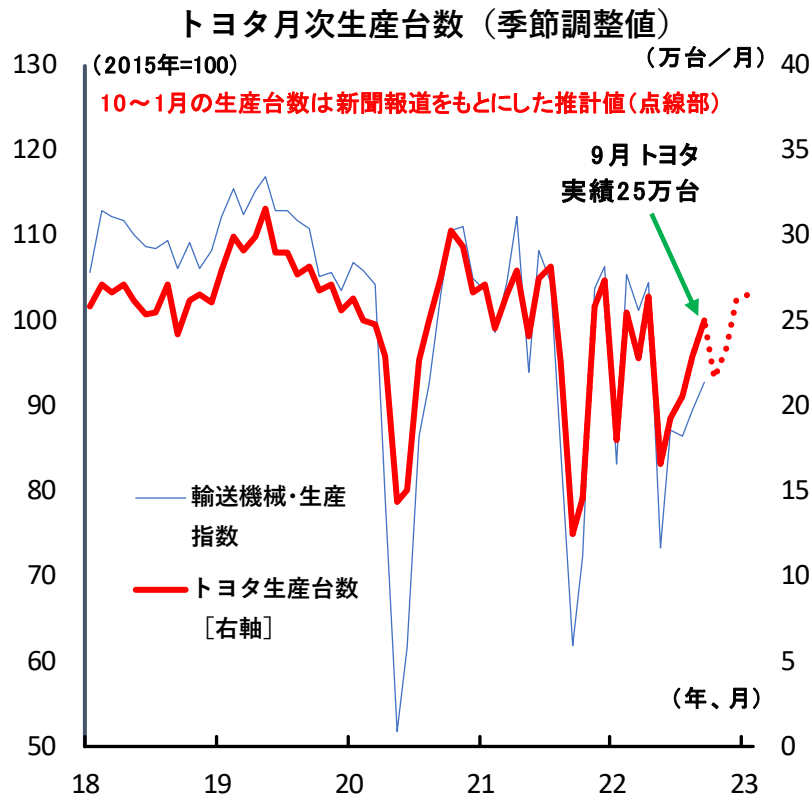


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

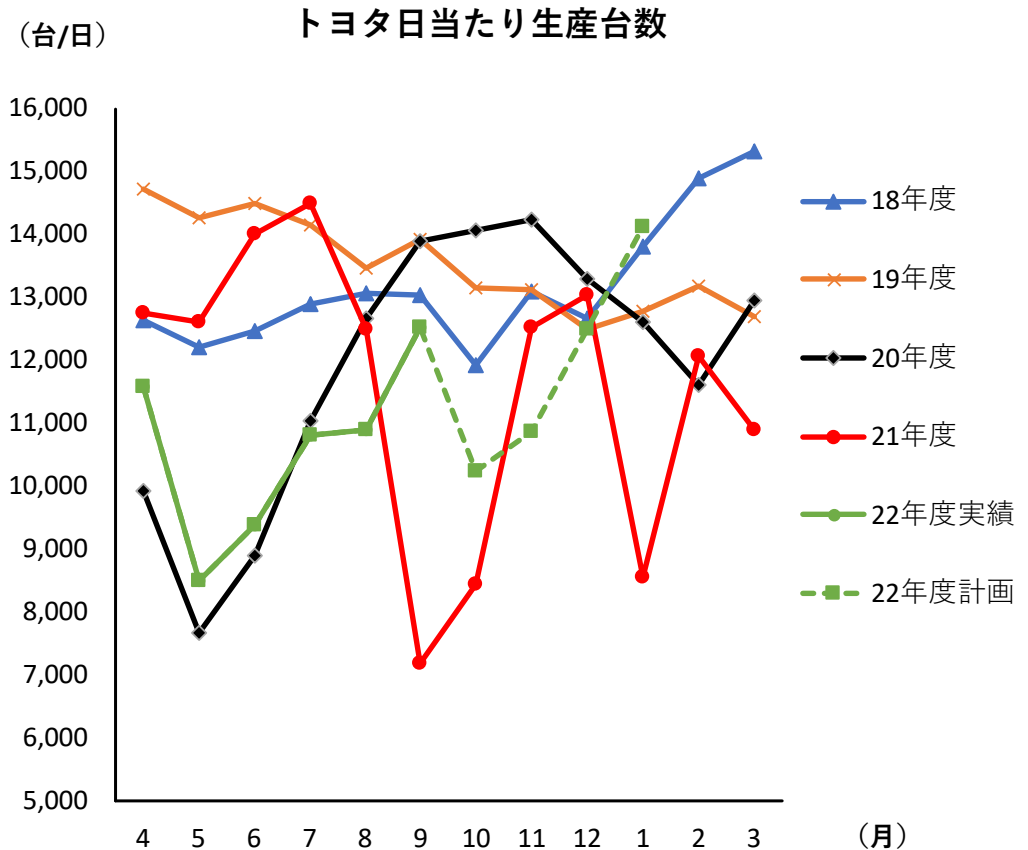


生産（トヨタ国内生産）

9月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は25.0万台と4ヵ月連続で増加したが、半導体調達難が続く中で当初計画からの下方修正が続いている。同社は10月に22年度の世界生産台数を従来計画の970万台から920万台へ下方修正した。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

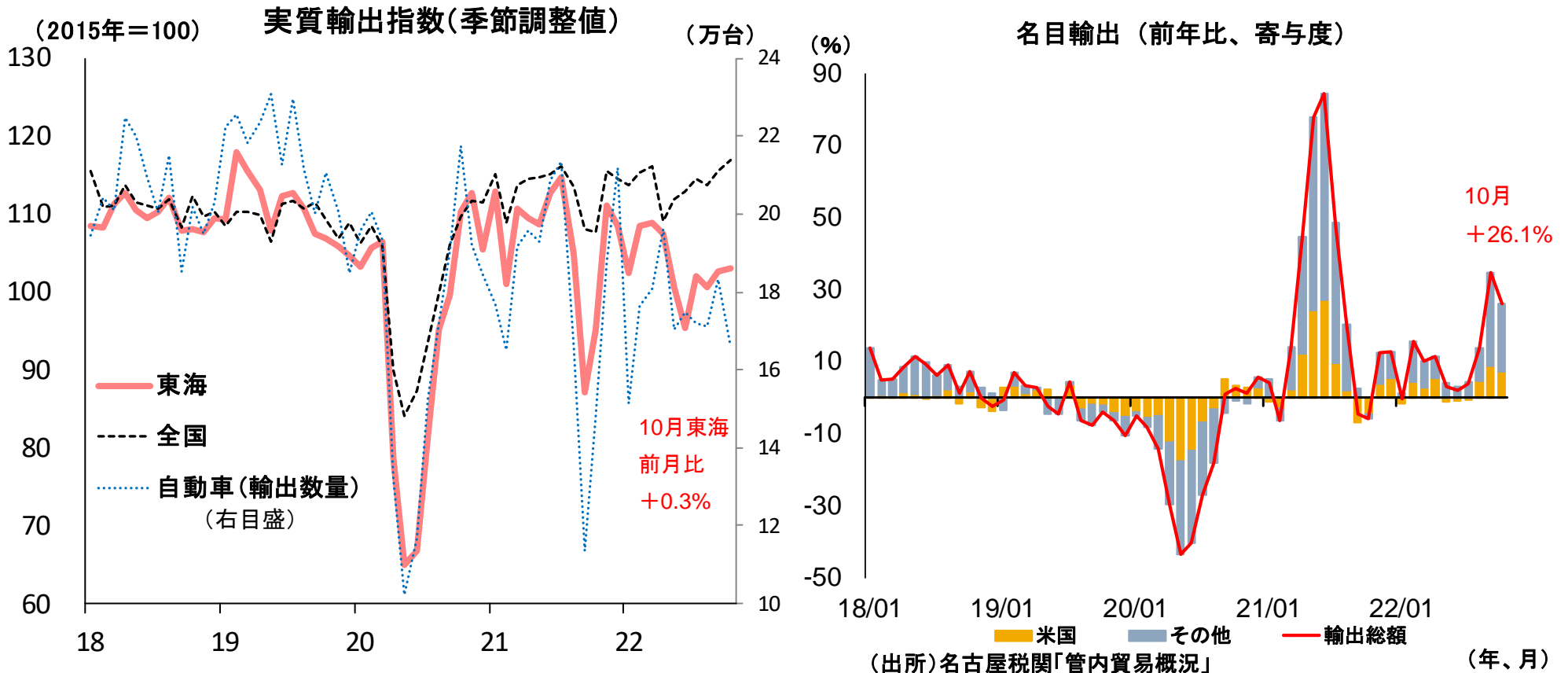


(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

10月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+0.3%と小幅ながら2カ月連続で上昇した。

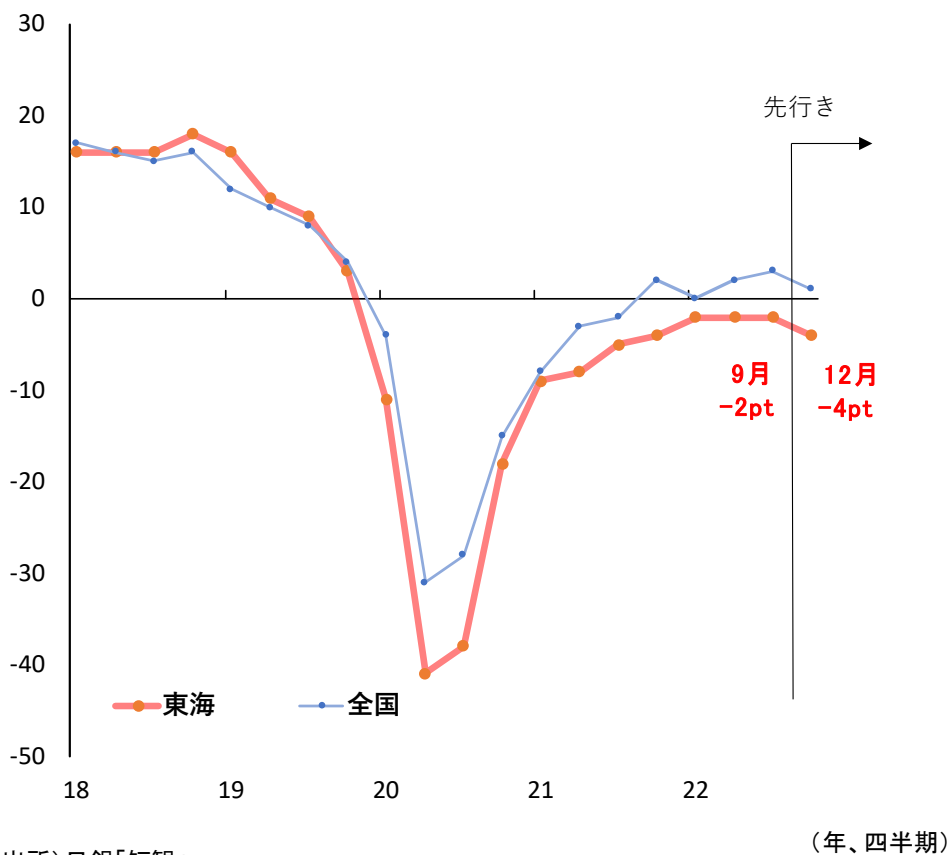
10月の名目輸出額は、前年比+26.1%と9カ月連続で増加した。自動車と同+50.9%(寄与度+10.7%)と大幅増となったことが効いた(数量ベースでも同+11.3%)が、半導体不足による前年の低水準の反動。地域別では米国、アジア、EU向けのいずれもが増加した。



企業景況感(日銀短観) ※以下は10/3公表の9月調査。12月調査12/14公表予定

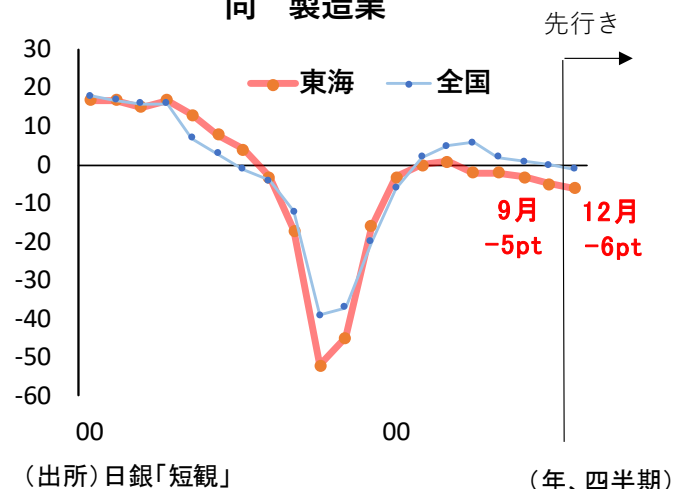
日銀短観9月調査の業況判断DIIは全産業で-2ptと6月調査(-2pt)から横ばい。製造業は-5ptと小幅悪化、非製造業は+2ptと改善した。業種別では、紙・パルプ、金属製品、電気・ガスなどが大幅に悪化した。先行きは、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。

短観業況判断DII「全産業」



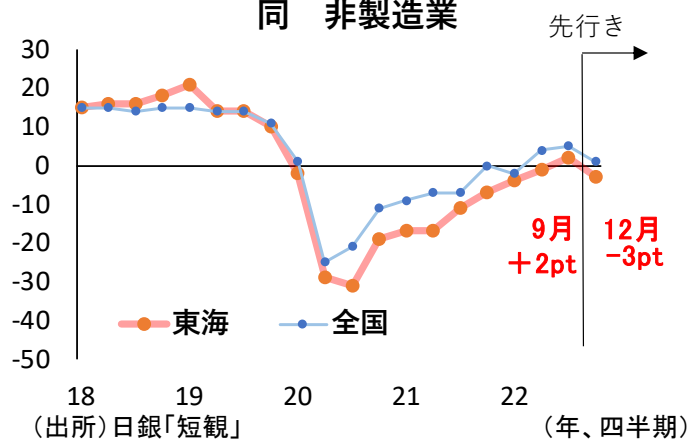
(出所)日銀「短観」

同 製造業



(出所)日銀「短観」

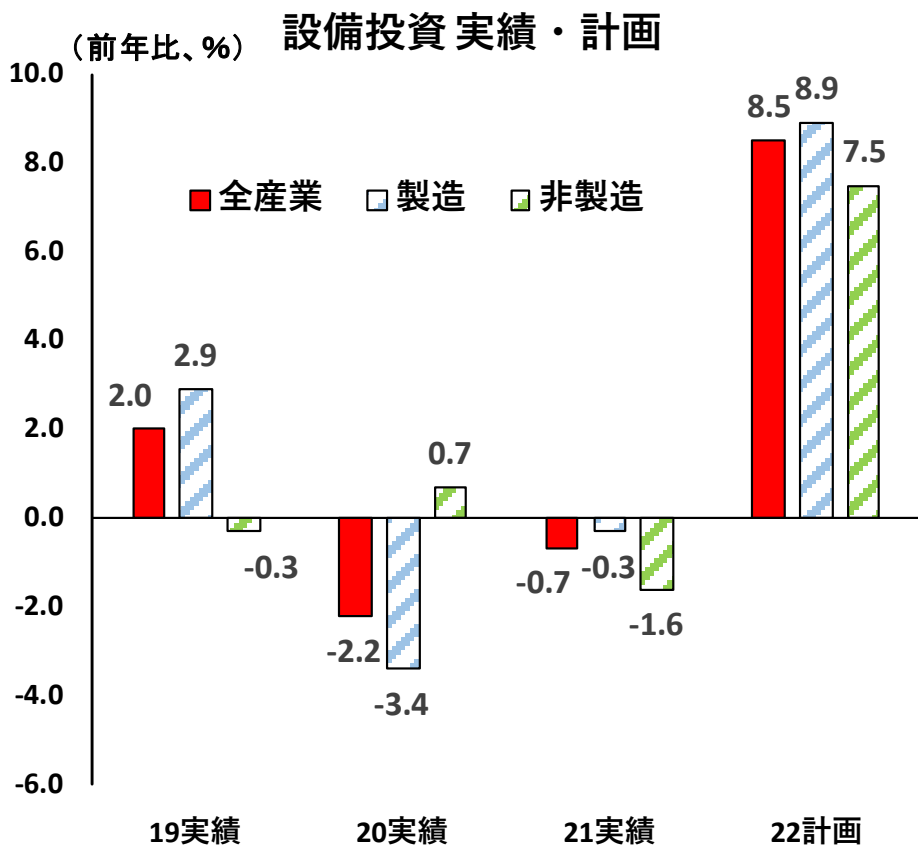
同 非製造業



(出所)日銀「短観」

設備投資※以下は10/3公表の9月調査。12月調査12/14公表予定

日銀短観9月調査によると、22年度の設備投資計画は製造業で前年比+8.9%、非製造業で同+7.5%と、ともに前回6月調査に比べ上方修正となった。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

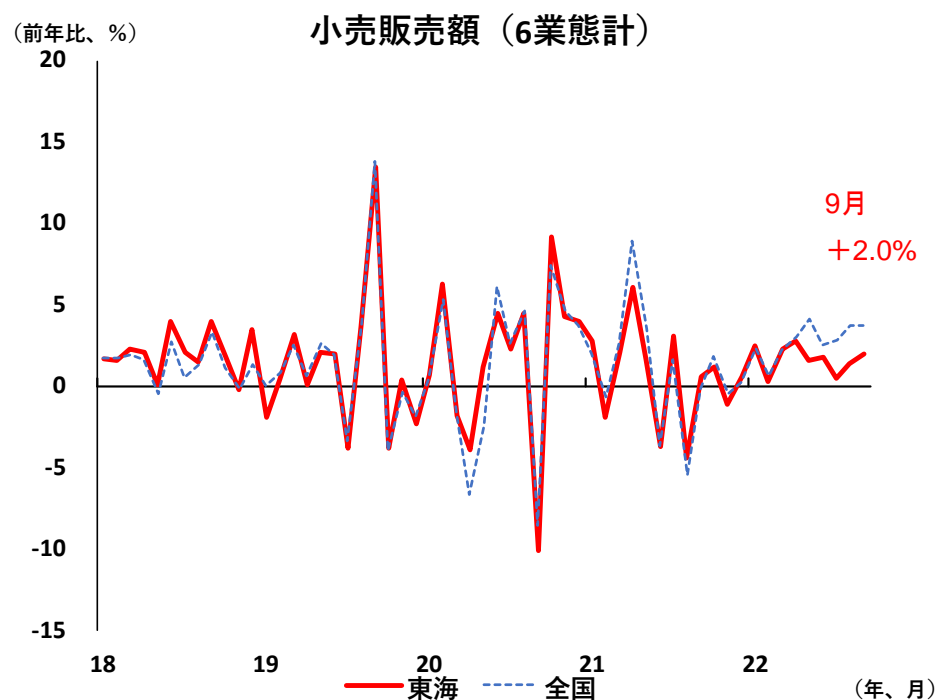
設備投資額 (前年比%)

	21年度実績	22年度計画	
		今回調査	前回調査 (前回調査との差異)
全産業	-0.7	8.5	(0.7)
製造業	-0.3	8.9	(0.6)
非製造業	-1.6	7.5	(0.8)

個人消費(小売売上、自動車販売)

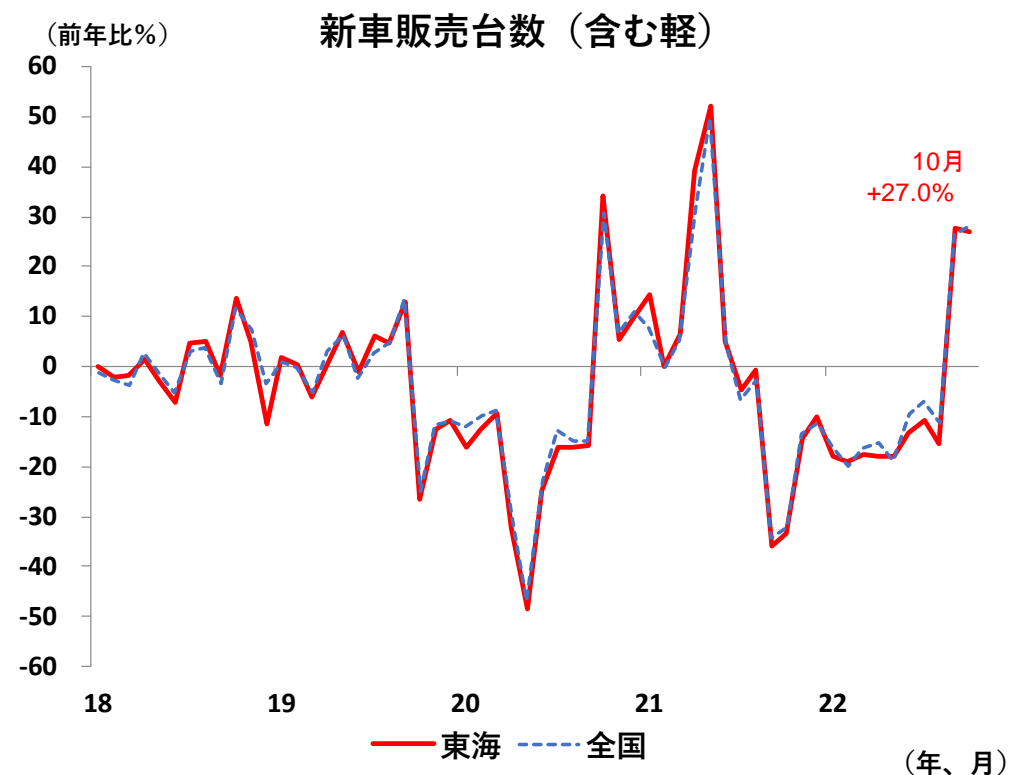
9月の小売販売額は前年比+2.0%と10ヵ月連続で増加。先行きは、物価上昇、コロナ感染再拡大などが懸念されるが、感染拡大防止と経済活動の両立が図られる中で持ち直しの動きが続くとみられる。

10月の新車販売は、前年同月が半導体調達難で低水準であった反動もあって、前年比+27.0%と2ヵ月連続で大幅増となった。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

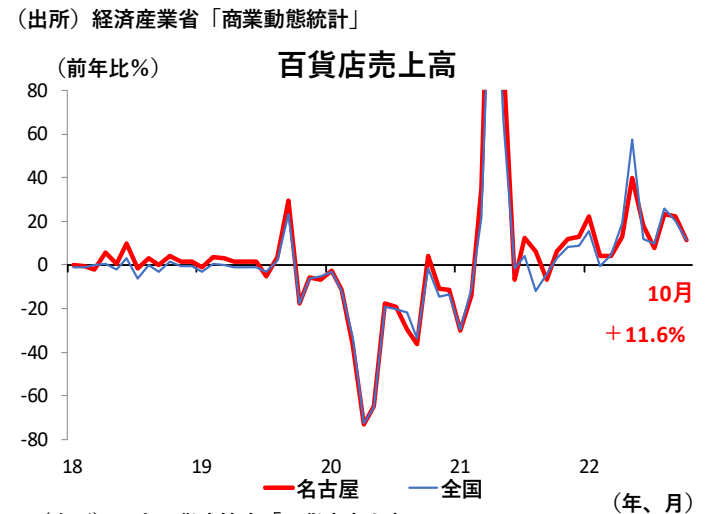
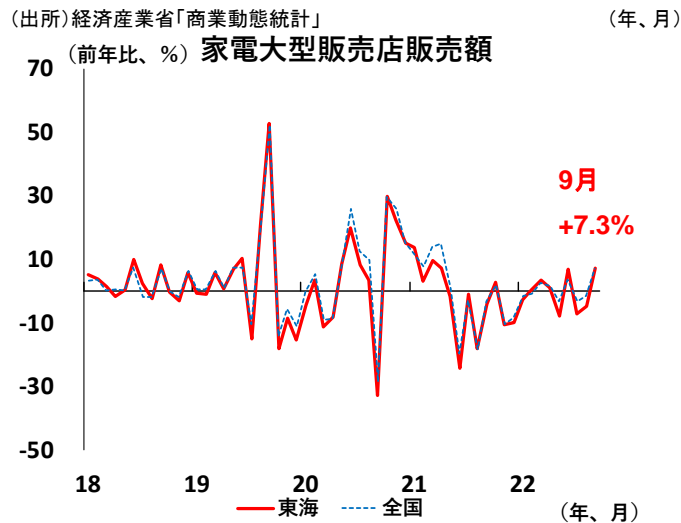
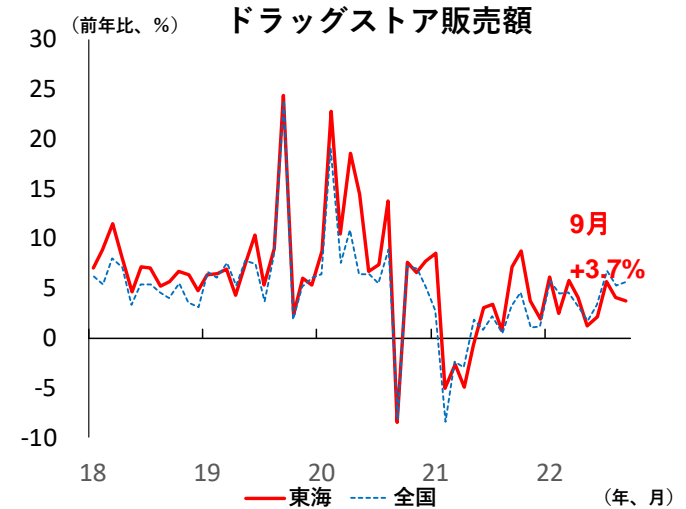
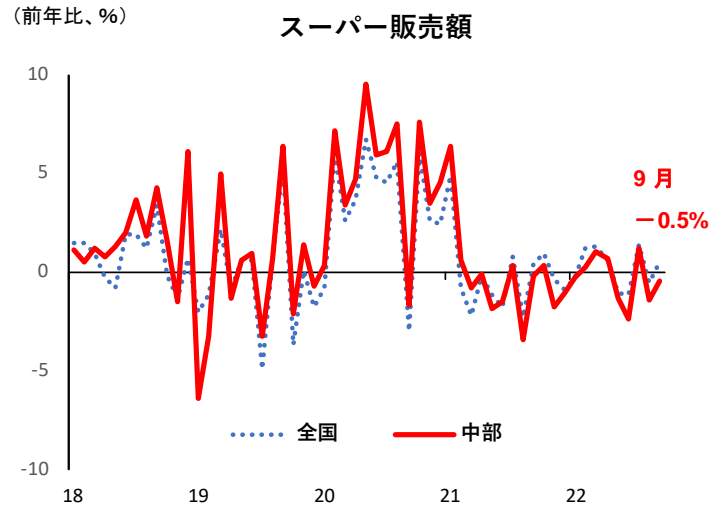


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

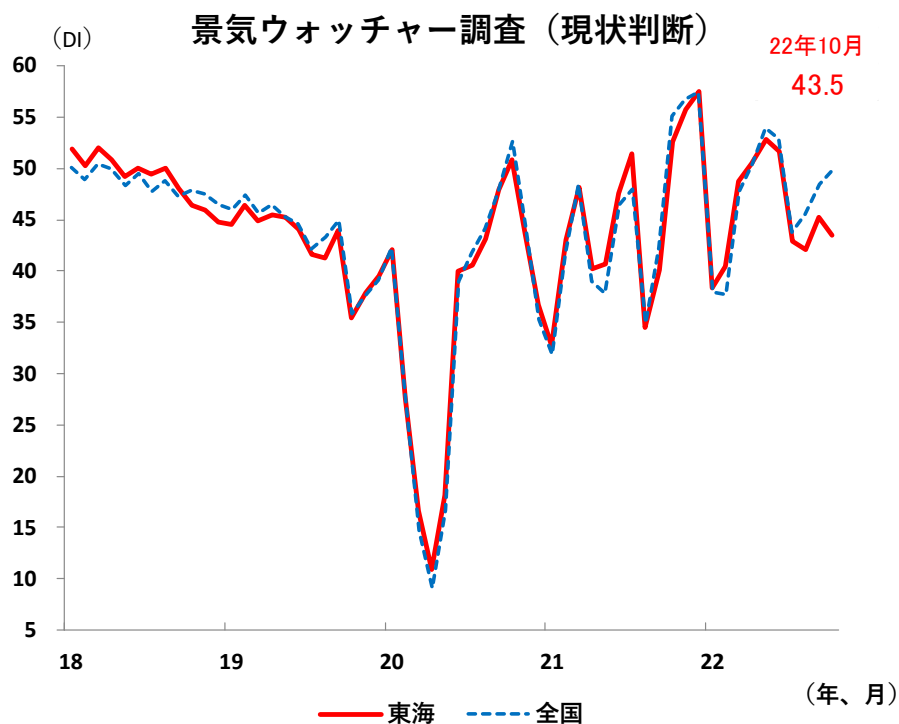
個人消費(業態別)

9月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)が2ヵ月連続で減少、ドラッグストア、家電は増加した。
10月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+11.6%と13ヵ月連続で増加した。

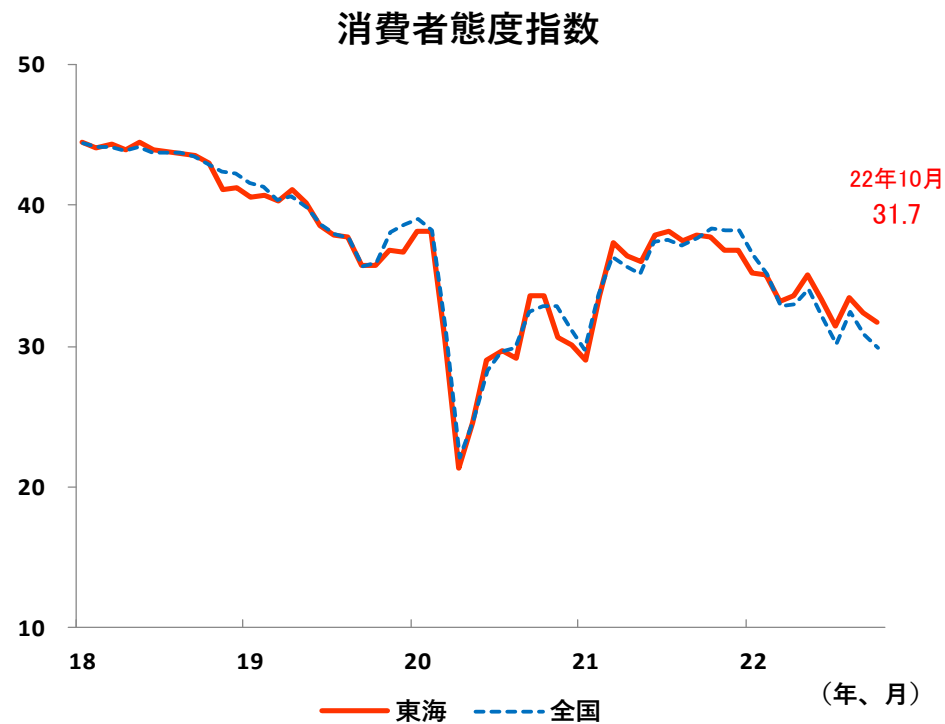


マインド・景況感

10月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-1.7ポイントの43.5と2ヵ月ぶりに低下し、横ばいを示す50を4ヵ月連続で下回った。全国が増加となる一方で東海は低下、DIの水準も他地域に比べて低い。物価上昇による家計の消費抑制、原材料価格上昇による企業の収益悪化が景況感の悪化につながっている。10月の消費者態度指数は2ヵ月連続で低下した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

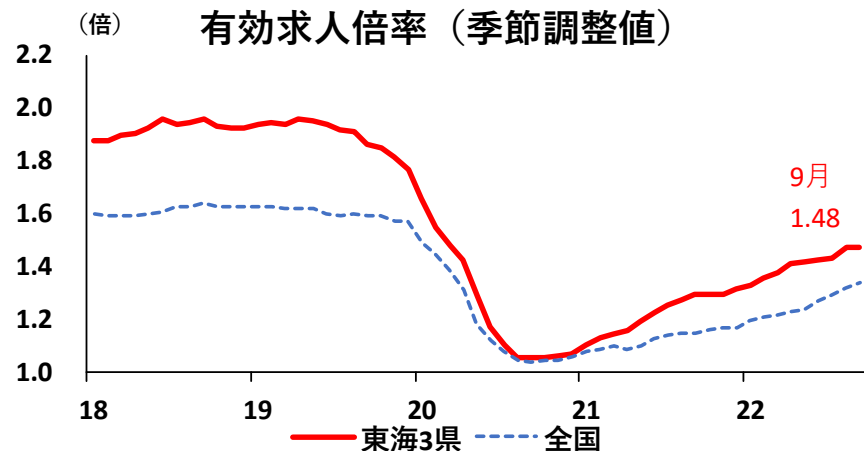
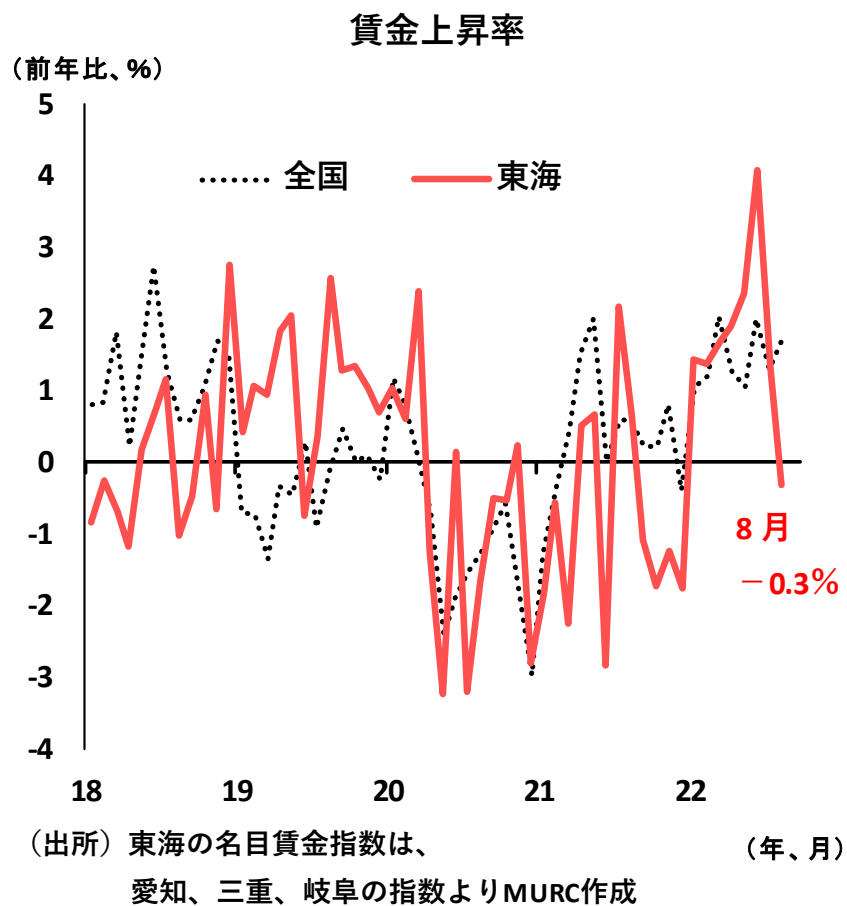


(注)東海の季節調整値はMURC試算

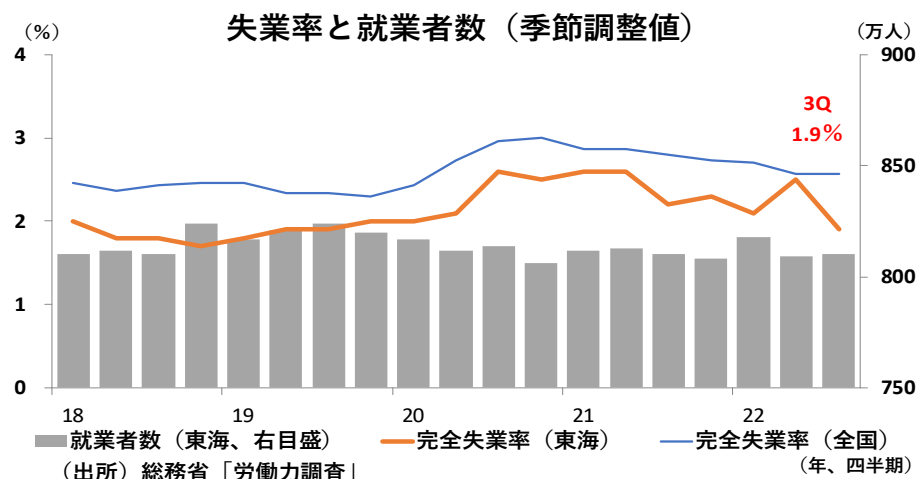
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

8月の名目賃金は、前年比-0.3%と8ヵ月ぶりに低下した(特別給与が低下)。9月の求人倍率は1.48と前月から小幅上昇。全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。22年7-9月期の失業率は1.9%と低下。就業者数は増加した。

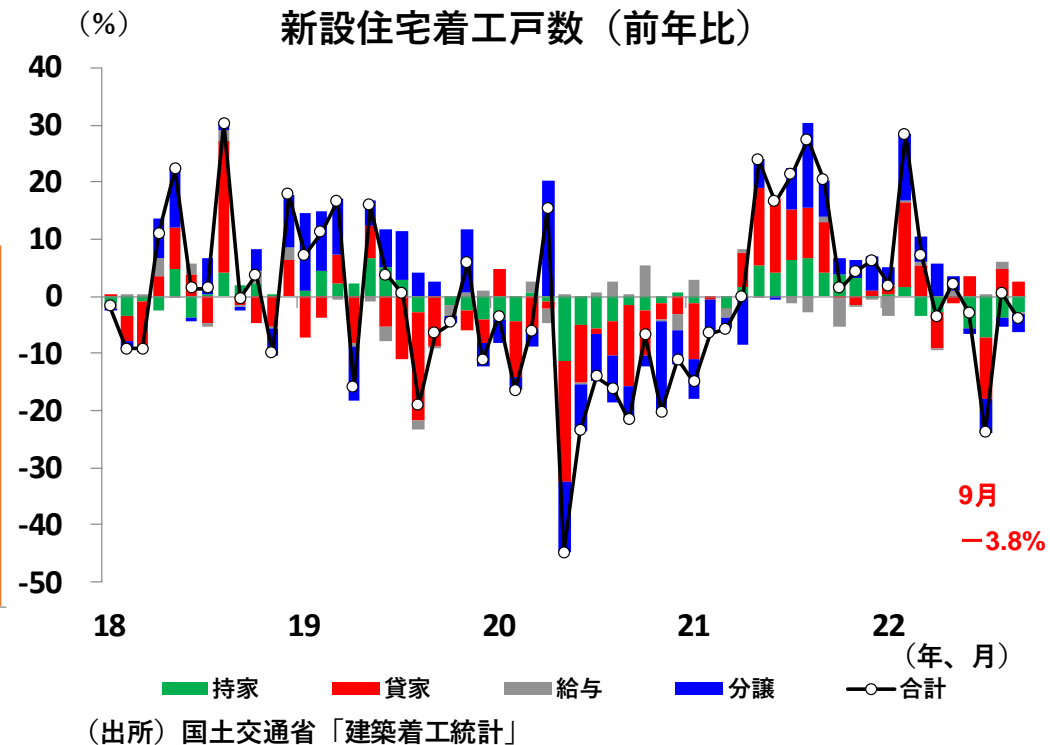
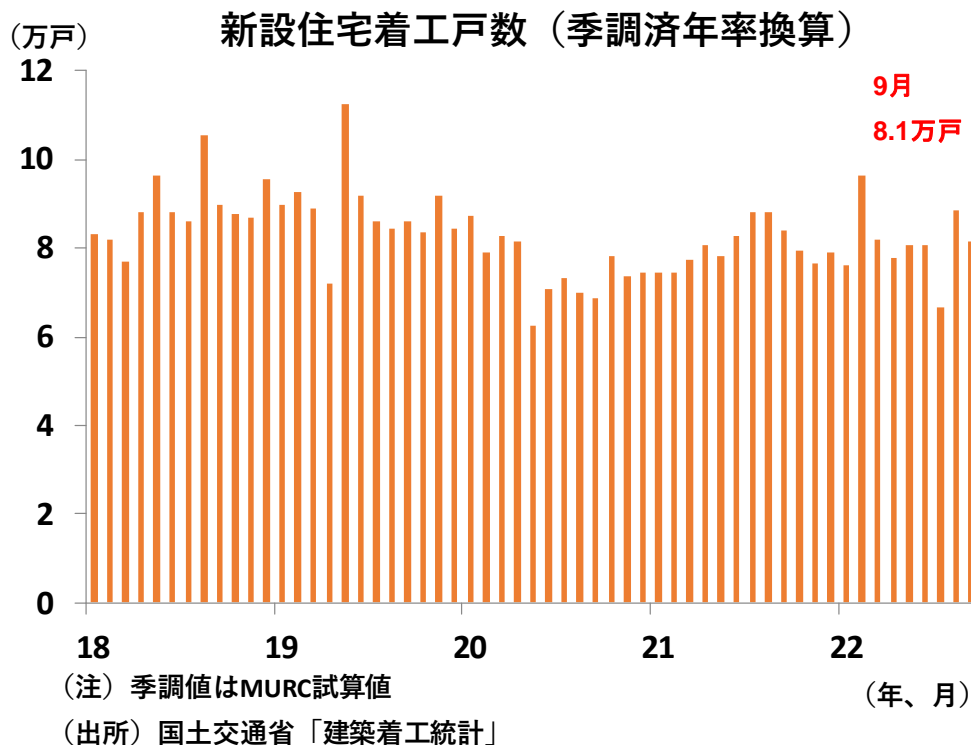


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



住宅投資

9月の住宅着工は季調・年率で8.1万戸と前月から減少。前年比でも-3.8%と減少した。利用関係別では貸家が増加したが、持家、分譲が減少した。



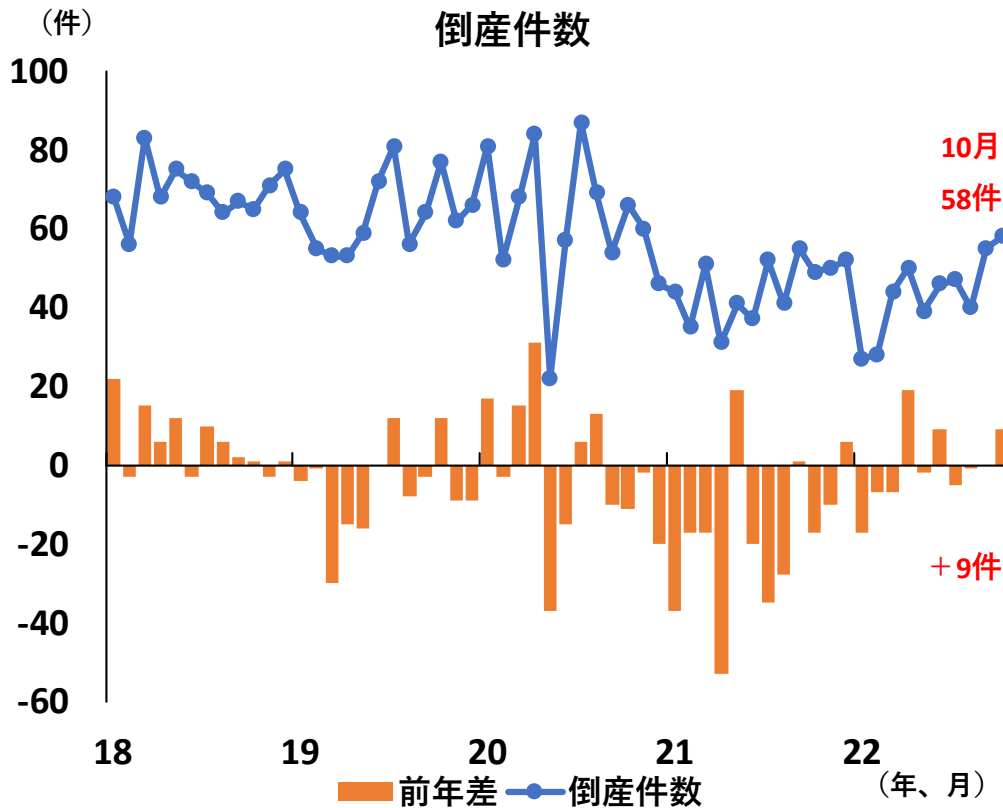
倒産

公共投資

10月の倒産件数は58件と前年差で9件の増加、引き続き低水準ながら、このところ緩やかに増加している。

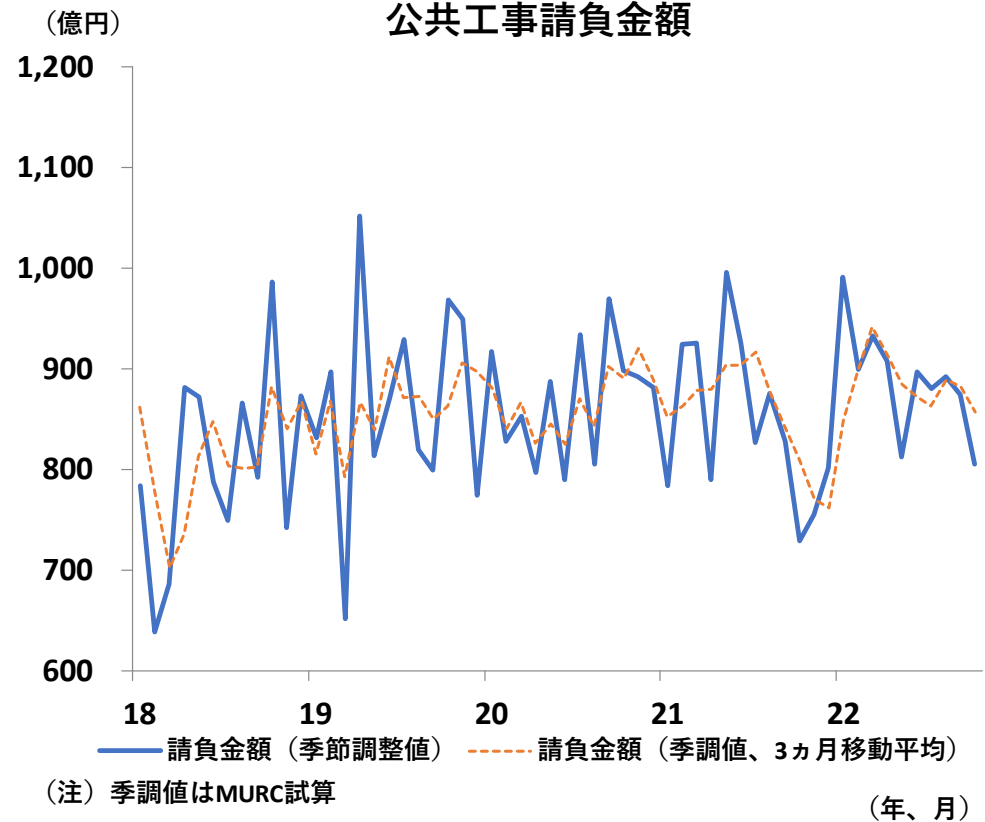
10月の公共工事請負金額は、季節調整済前月比で減少、均してみると概ね横ばい圏で推移している。

倒産件数



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共工事請負金額



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください